

ワークショップ 2017「私の京都市美術館」

「展示室を発掘する」「収蔵庫を収蔵する」 の開催について

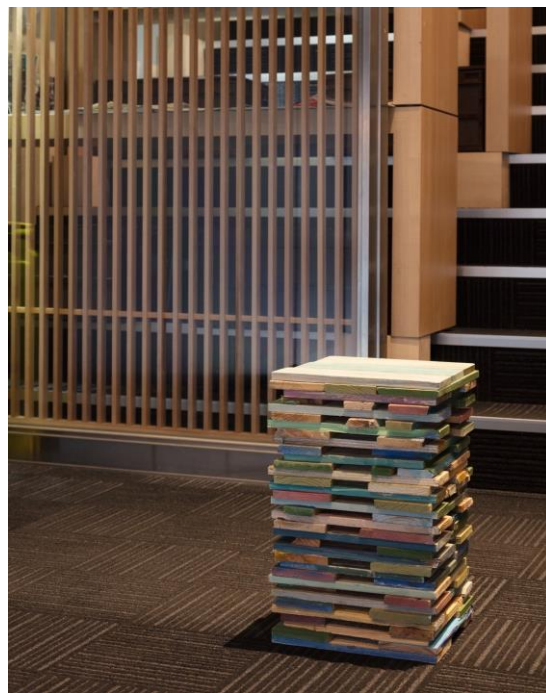
ポイント

- 生まれ変わる前の**京都市美術館の一部を切り取って、持ち帰る**ことができる！
- 美術館の**心臓部・収蔵庫等に入る**ことができる、貴重な機会！
- 芸術家の指導の下、あなただけのアート作品を制作！**夏休みの自由研究にいかが？

この度、京都市美術館では、再整備事業に係る本館の先行工事が始まる前に、解体する収蔵庫や展示室の壁等を活用しながら、その歴史を振り返るワークショップを行います。これは、全8回（予定）のワークショップシリーズ「私の京都市美術館」の第2・3回目として開催するものです。引き続き、再整備中においても、年間を通じて様々な角度から美術館の魅力を紹介します。



Vol.2 では、塗料が積層した展示室の壁面を活用



Vol.3 では、収蔵庫の壁や床を活用
作品イメージ：森太三「転用と配列」 撮影：麥生田兵吾

京都市美術館ワークショップ 2017「私の京都市美術館」

テーマ	①Vol.2「展示室を発掘する」	②Vol.3「収蔵庫を収蔵する」
内容	展覧会等で塗り重ねられた展示壁面の塗料の層を露わにします。壁面の歴史そのものを発掘し、切取り、作品化します。	作品収蔵庫の床や壁に使用されていた木材を切り出し、組み立てて1組1台、台座を作ります。完成後、収蔵庫内で制作した台座と一緒に撮影会を行います。
講師	日下部一司（美術作家）	森太三（美術作家）
日時	7月29日（土） 13時～16時	8月26日（土） 13時～16時
会場	1階南展示室 （美術館本館東玄関前集合）	収蔵庫 （美術館本館東玄関前集合）
対象	小学4年生以上	20歳以上を含むペア
定員	20人	20組
料金	無料	

※ ワークショップ（写真・動画）の記録は公開・展示を致します。また、制作した作品の転売・譲渡は固く禁じます。

市民と歩んだ80年間の証をみんなで共有したい！そんな思いで開催します。二度と経験できない、再整備前ならではの取組ですよ！

ワークショップ担当 大森奈津子



○ 申し込み方法

はがき、FAX、Eメールのいずれか（郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望のワークショップ番号を明記）にてお申し込みください。※多数抽選

○ 締切 ①7月19日(水)まで ②8月16日(水)まで（いずれも当日消印有効）

○ 申込先

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町124番地
京都市美術館ワークショップ係
TEL 075-771-4107
FAX 075-761-0444
メール bijutsukan@city.kyoto.lg.jp

【参考】市美術館の再整備について



京都市では、創設以来80年以上の長きにわたり、我が国の文化芸術を牽引してきた京都市美術館を、将来にわたり、市民に愛され世界に誇れる美術館としていくため、再整備に向けた取組を推進中。平成31年度内のリニューアルオープンを目指します。

再整備後に誕生する新館（イメージ）

収蔵庫を解体後に建設する新館では、多様な芸術をフレキシブルに展示できる約1,000㎡の展示室を整備。ガラス壁のロビーを設け、中からは日本庭園を、外からはアートを感じられる設えとします。